

第14回 古代日本人の思想と文化

- | | | |
|------|--|-------------|
| 1 B | 1万年前から前3世紀ごろまでのあいだ、日本各地に発達した狩猟・漁撈を中心とした新石器文化を何というか。 | 縄文文化 |
| 2 B | 日本の縄文文化もその流れのなかにある、インド北東部から中国南部をへて中部日本にいたるカシ・シイなどの常緑広葉樹林地帯で、焼畑農耕を行ったアワ・ヒエなどの雑穀を中心とした文化圏を何というか。 | 照葉樹林文化圏 |
| 3 C | 縄文前期のころ、朝鮮半島から東日本一帯をおおった落葉広葉樹林地帯で、サケ・マスなどの漁撈やシカ・イノシシなどの狩猟とともに、トチやナラなどの堅果類の採取を行った文化圏を何というか。 | ナラ林文化圏 |
| 4 C | アジアのモンスーン地帯に広がった、水田稲作を中心とする文化を何というか。 | 稲作文化 |
| 5 B | 前3世紀から後3世紀ごろまでのあいだ、九州北部から東日本にかけて広がった、水稻農業と金属器を特色とする文化を何というか。 | 弥生文化 |
| 6 C | 祭祀を行う者が、同時に政治上の支配者であるという政治の形態を何というか。 | 祭政一致 |
| 7 C | 古代社会で行われていた獣骨の焼け具合や自然の変化のあり方などによって、神意をうかがうという呪術の一種を何というか。 | 占い |
| 8 C | 神に誓いをたて、その通りのしるしがあらわれるか否かで是非を判断した、古代日本の呪術の一種を何というか。 | 誓(うけひ) |
| 9 B | 神をむかえて供応することにより神と人との結びつきを強め、神の霊力を得ようとする宗教行事を何というか。 | 祭り |
| 10 B | 祭祀にあたっとなえられる、祭りの意味や祈願の内容をしめすことばを何というか。 | 祝詞 |
| 11 C | 神社の由来や伝承などを舞踊化したもので、神前に奉納する舞楽を何というか。 | 神楽 |
| 12 C | 平安時代後期ごろよりはじまった、五穀豊饒を田の神に祈願するための神事芸能を何というか。 | 田楽 |
| 13 C | 4世紀ごろ、現在の奈良地方を中心に生まれた、豪族連合による統一国家を何というか。 | 大和朝廷 |
| 14 A | 5世紀ごろには大王とよばれていたが、7世紀ごろから現在のよび名になった大和朝廷の首長を何というか。 | 天皇 |
| 15 A | 建国神話や皇室の系譜を中心に編纂された、聖武天皇の712年に成立した日本最古の歴史書を何というか。 | 『古事記』 |
| 16 A | 神代から持統天皇までの歴史を、神話や伝説をまじえて編纂された720年成立の官撰正史を何というか。 | 『日本書紀』 |
| 17 C | 8世紀ごろの日本各地の産物・伝承・地形などを記した、奈良時代の地方文献を何というか。 | 『風土記』 |
| 18 C | 4～5世紀ごろ、朝鮮半島から日本に渡ってきて、古墳文化の形成に貢献した人びとを何というか。 | 渡来人 |
| 19 C | 古代から近代にかけて、日本が中国・朝鮮や欧米から受け取ってきた文化を総称して何というか。 | 外来文化 |
| 1 C | 雷や風や大木や巨石といった自然の事物・現象に畏敬をはらい、神として信仰の対象としたものを何というか。 | 自然神 |
| 2 A | 古代日本で信仰されていた、自然神・祖先神や皇祖神などの無数の神々を総称して何というか。 | 八百万神 |
| 3 C | 鎮守の神や産土神などと同じ意味をもつ日本の氏族の神を何というか。 | 氏神 |
| 4 B | 国生み神話の主人公で、日本列島と神々の祖となった男女の神を何というか。 | 伊邪那岐命・伊邪那美命 |
| 5 A | 伊邪那岐・伊邪那美二神の娘で、高天原の主であり、皇室の祖先とされている神を何というか。 | 天照大神 |

6 B	天照大神の弟で、高天原を追放されたのち、出雲の国の支配者となった神を何というか。	素戔鳴命
7 C	天孫降臨以前に日本国土を支配したとされる、出雲神話の中心の神は何というか。	大国主命
8 C	日本神話において宇宙を構成する三つの世界の一つで、神々の住む光明の世界を何というか。	高天原
9 C	日本神話において宇宙を構成する三つの世界の一つで、光と闇・善と悪とが交錯する人間の住む世界を何というか。	葦原中国
10 C	日本神話において宇宙を構成する三つの世界の一つで、死後、霊魂のおもむくところを何というか。	黄泉国
11 C	儒教や仏教によって理論化される以前の、日本神話にみられる日本固有の民族宗教を何というか。	古神道(原始神道)
12 A	偽りのない公明正大な心のことで、古代日本人が尊んだ素朴で純粋な精神のあり方を何というか。	清明心
13 B	清明心の反対で、他人を欺き偽る心を古代日本では何というか。	汚き心
14 C	汚き心を構成する利己的な心のあり方を古代日本では何というか。	私心
15 C	古代日本の人びとが、月や水や自然の澄みきった透明感のあるようすをたたえるときに用いた情趣を何というか。	さやけさ
16 A	災害・病気・行為などの共同体の人間関係や生活をそこねるようなものを、古代日本の人びとは何といつたか。	罪・穢れ
17 A	水によって罪や穢れを洗い落とし、清らかさを取りもどすことを何というか。	禊(みそぎ)
18 A	祝詞や呪詞によって罪や穢れを除去することを何というか。	祓い(祓え)